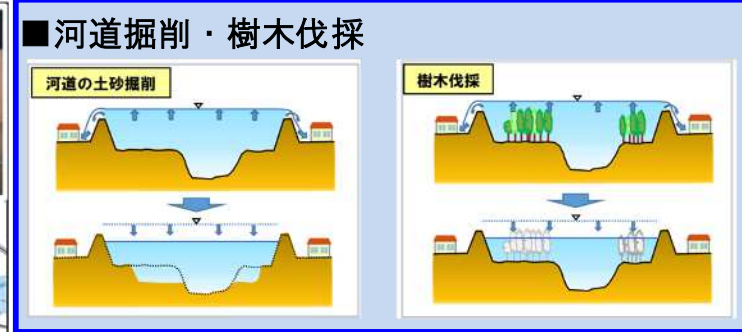
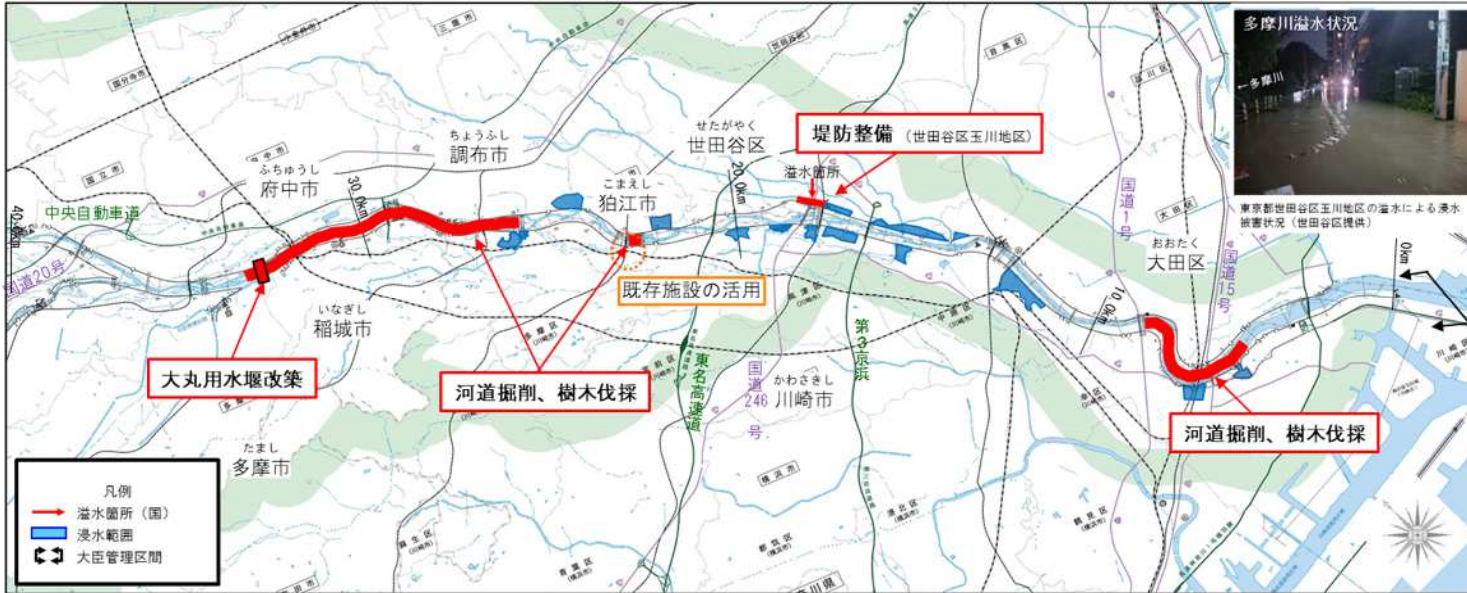


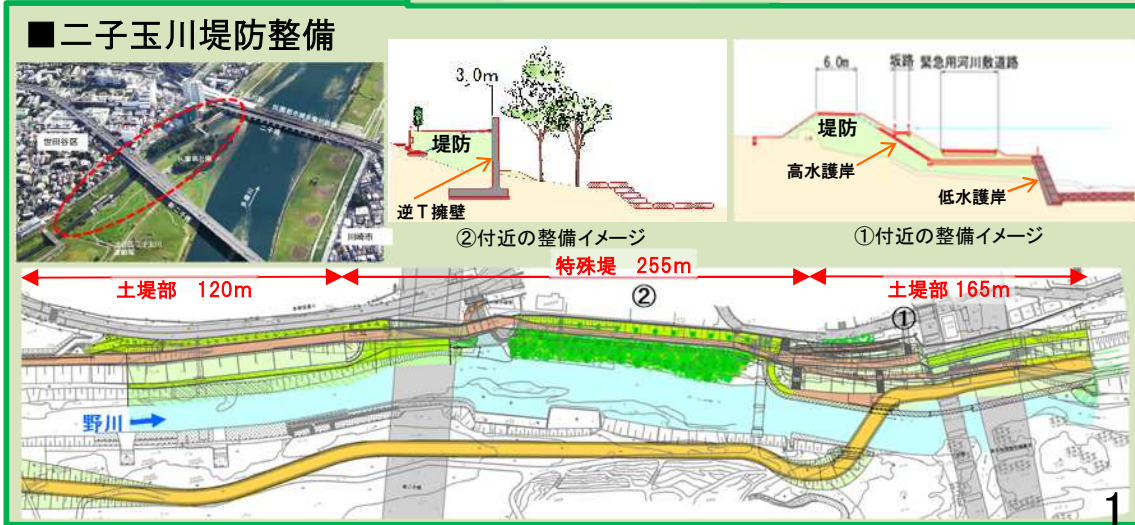
多摩川緊急治水対策プロジェクト河川流域における対策（河川改修）について

【整備の考え方】

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、浸水被害の軽減に向けた対策を加速化させるため、多摩川中下流部における河道掘削や堰改築、溢水箇所等の堤防整備を実施します。
- これらの河川改修により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、多摩川からの氾濫による浸水被害を防止します。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
河道掘削			河道掘削			
堤防整備 (二子玉川)		溢水箇所の対応 土のう 築堤		築堤施工		
大丸用水堰改築		関係機関協議		帯工・堤外水路・堰改築		
						[4月末完了] / [6月末完了]



※数量およびスケジュールは現時点での予定であり、今後の調査・検討・関係機関調整の進捗等により変更が生じる場合があります。

多摩川緊急治水対策プロジェクト<堤防整備（世田谷区玉川地区）>

【令和7年4月完成】

- 世田谷区玉川地区では、無堤防区間から溢水を防止する対策として約540m区間の堤防整備を行いました。
- これにより、令和元年東日本台風と同等規模の洪水が起こった場合でも洪水を安全に流下させ、多摩川からの氾濫による浸水被害を防止します。



工事着手前

土堤部 120m

特殊部 255m

土堤部 70m

土堤部 95m

堤防整備

540m

令和7年4月撮影

↑
野川

土堤区間 整備状況

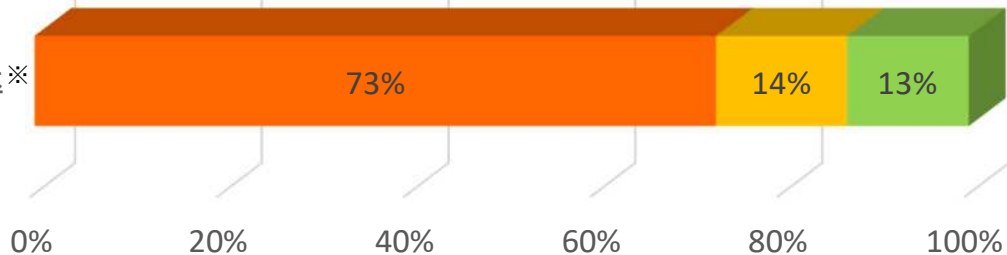
令和7年4月撮影

特殊堤区間 整備状況

多摩川緊急治水対策プロジェクト<河道掘削>

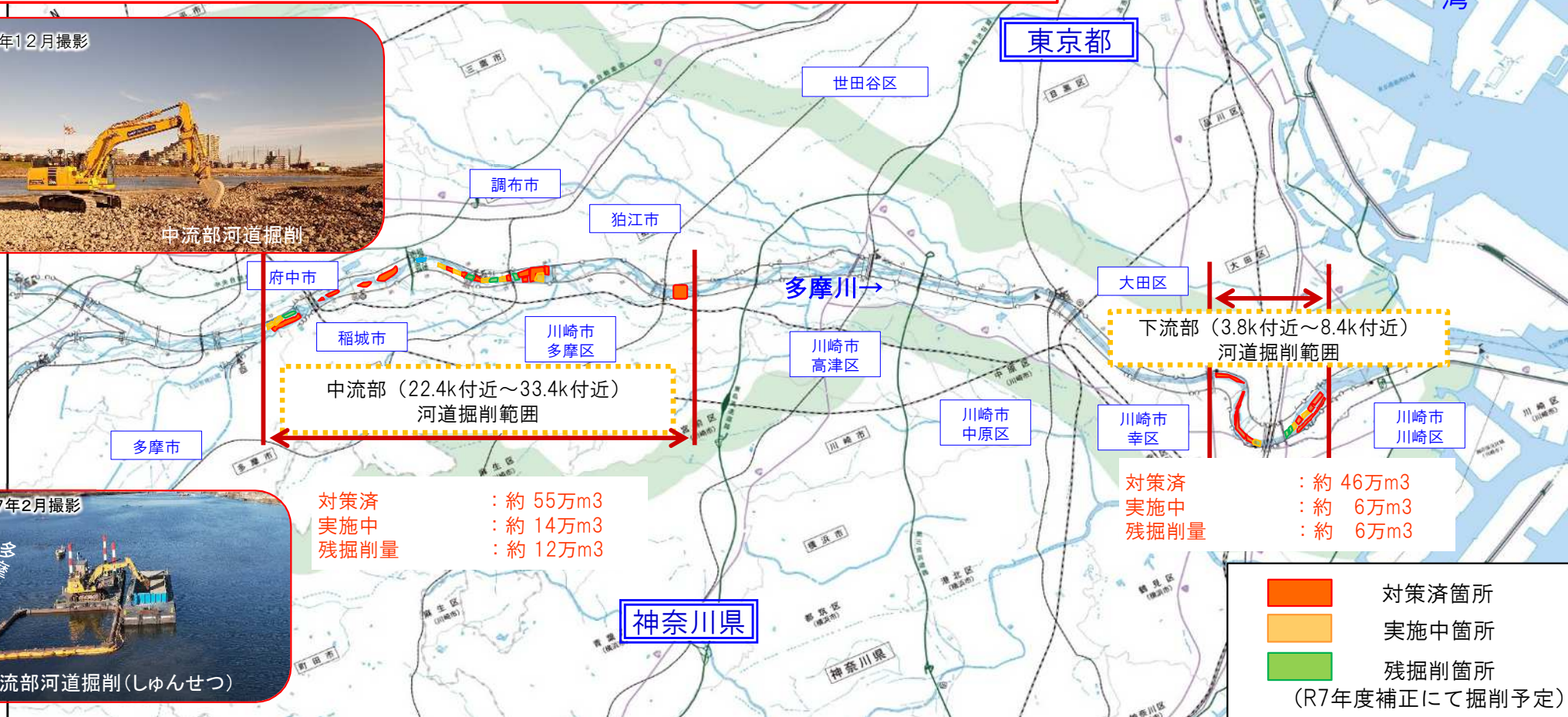
【令和8年1月時点】

河道掘削進捗率※



■ 対策済 ■ 実施中 ■ 残掘削 (R7年度補正にて掘削予定)

※掘削計画量(約139万m³)に対して、現況状況を踏まえて掘削箇所・形状を見直した上で、掘削・洗堀により確保されたボリュームを比率として算出したもの



対策済 : 約 55万m³
 実施中 : 約 14万m³
 残掘削量 : 約 12万m³

対策済 : 約 46万m³
 実施中 : 約 6万m³
 残掘削量 : 約 6万m³

- 対策済箇所
- 実施中箇所
- 残掘削箇所
(R7年度補正にて掘削予定)

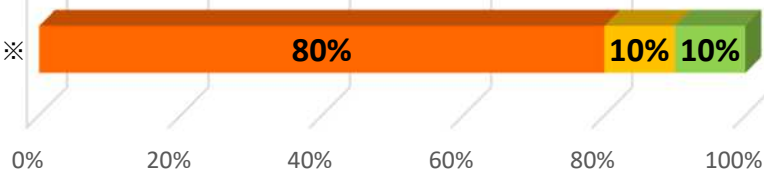
※R8年1月末時点の情報となります。現地の状況により今後変更となる場合がございます。

多摩川緊急治水対策プロジェクト 河道掘削箇所【多摩川下流部(3.8k~8.4k)】

大田区、川崎市(川崎区・幸区)

【下流部(3.8k~8.4k付近)】

河道掘削進捗率※



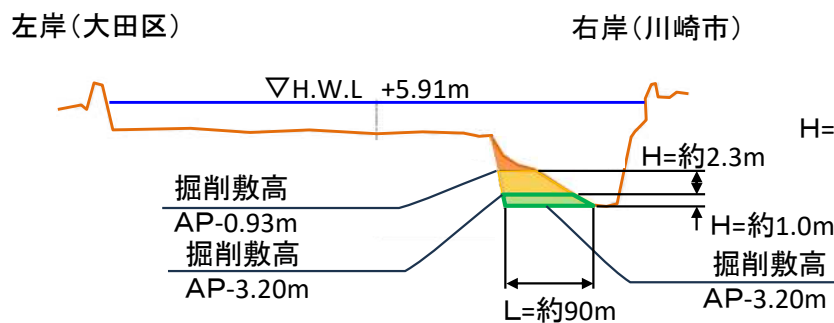
■ 対策済 ■ 実施中 ■ 残掘削 (R7年度補正にて掘削予定)

※下流部掘削計画量(約58万m³)に対して、現況状況を踏まえて掘削箇所・形状を見直した上で、掘削・洗堀により確保されたボリュームを比率として算出したもの

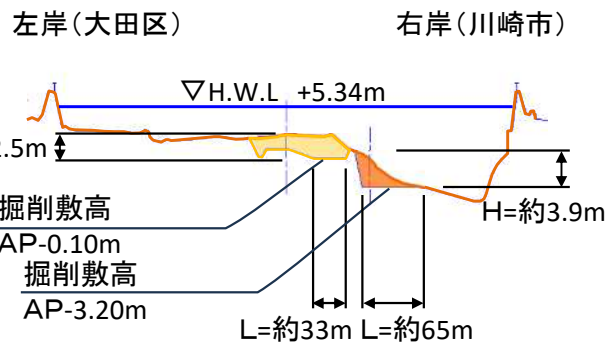
- 凡例
- 対策済箇所
 - 実施中箇所
 - 残掘削箇所 (R7年度補正にて掘削予定)



B-B断面



A-A断面



- 掘削範囲(対策済)
- 掘削範囲(実施中)
- 掘削範囲(残掘削)

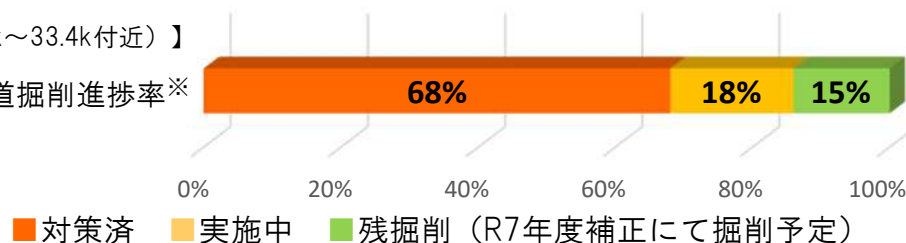
多摩川緊急治水対策プロジェクト 河道掘削箇所【多摩川中流部(22.2k~23.6k)】

狛江市、川崎市(多摩区)



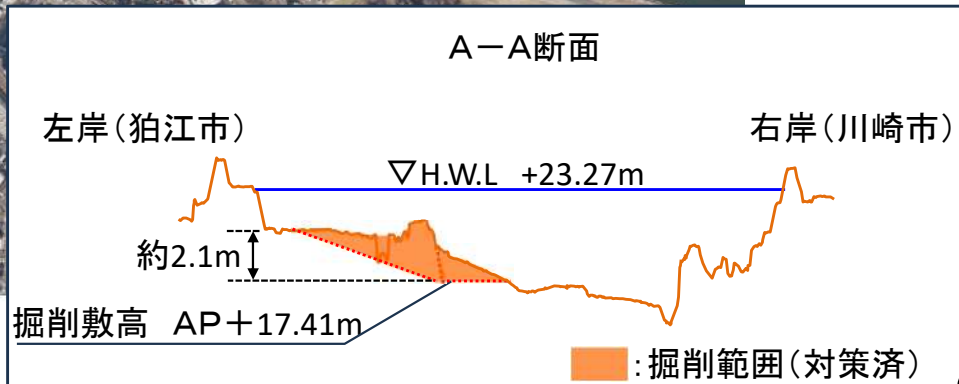
【中流部(22.4k~33.4k付近)】

河道掘削進捗率※



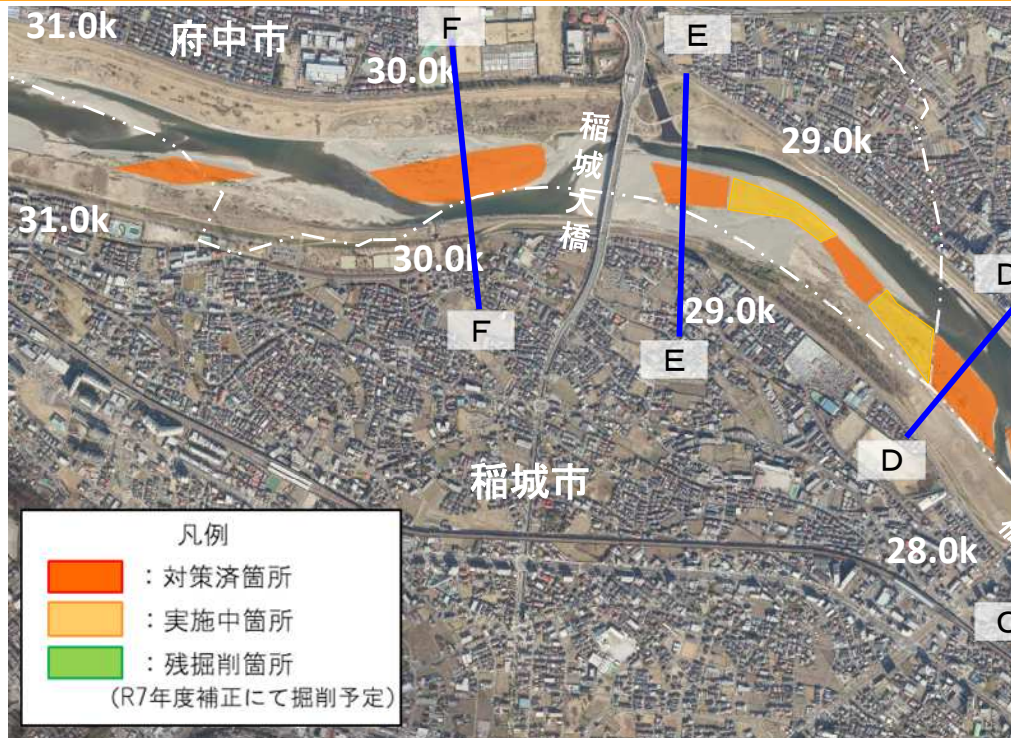
※中流部掘削計画量(約81万m³)に対して、現況状況を踏まえて掘削箇所・形状を見直した上で、掘削・洗堀により確保されたボリュームを比率として算出したもの

- 凡例
- : 対策済箇所
 - : 実施中箇所
 - : 残掘削箇所
(R7年度補正にて掘削予定)



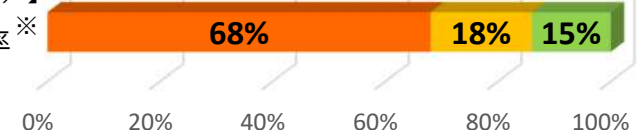
R7河道掘削箇所【多摩川中流部(25.0k~31.0k)】

府中市、調布市、稲城市、川崎市(多摩区)



【中流部(22.4k~33.4k付近)】

河道掘削進捗率※

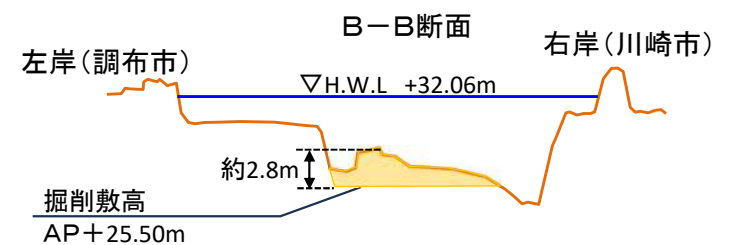
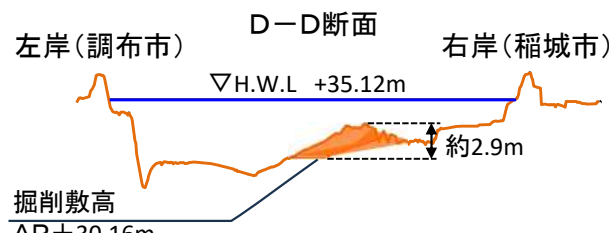
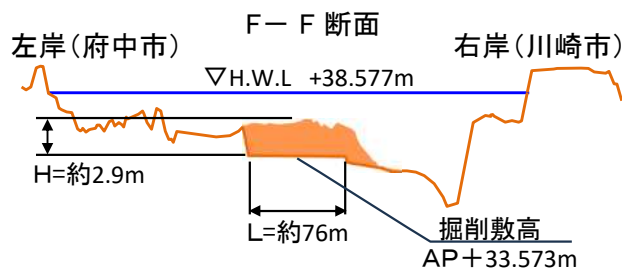
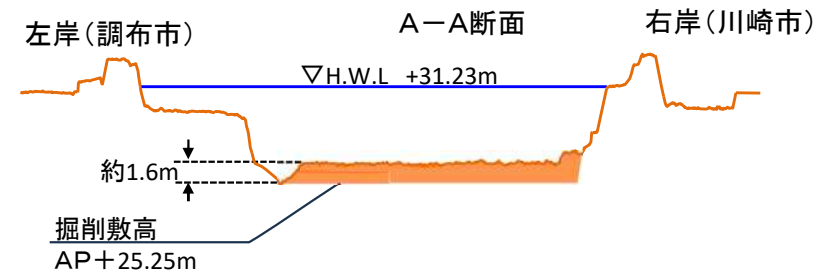
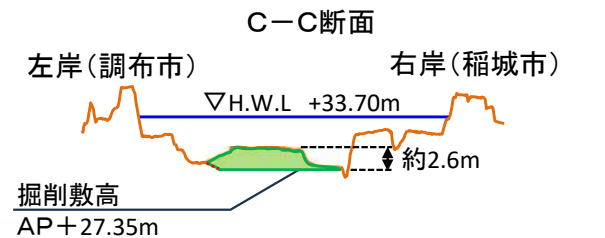
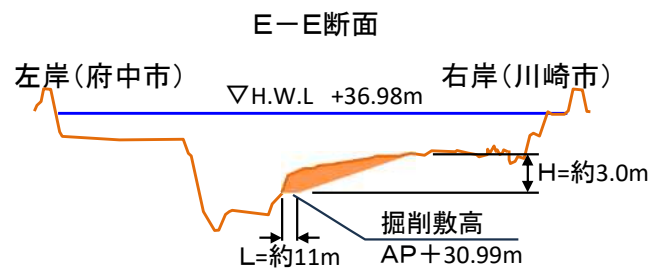


■ 対策済
 ■ 実施中
 ■ 残掘削 (R7年度補正にて掘削予定)

※中流部掘削計画量(約81万m³)に対して、現況状況を踏まえて掘削箇所・形状を見直した上で、掘削・洗堀により確保されたポリウムを比率として算出したもの

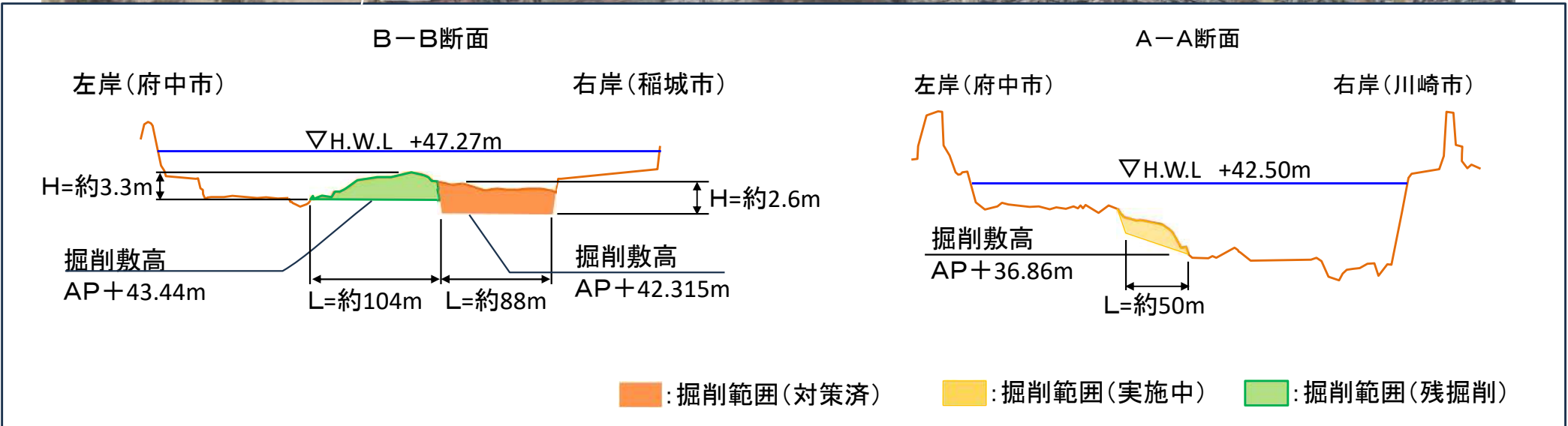
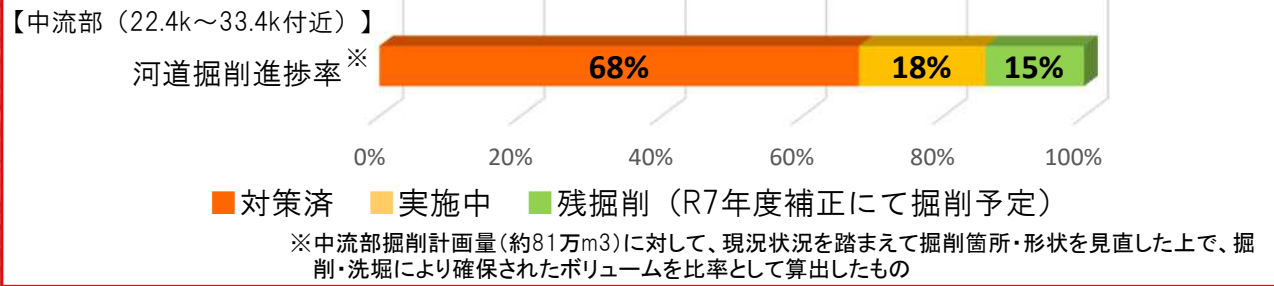
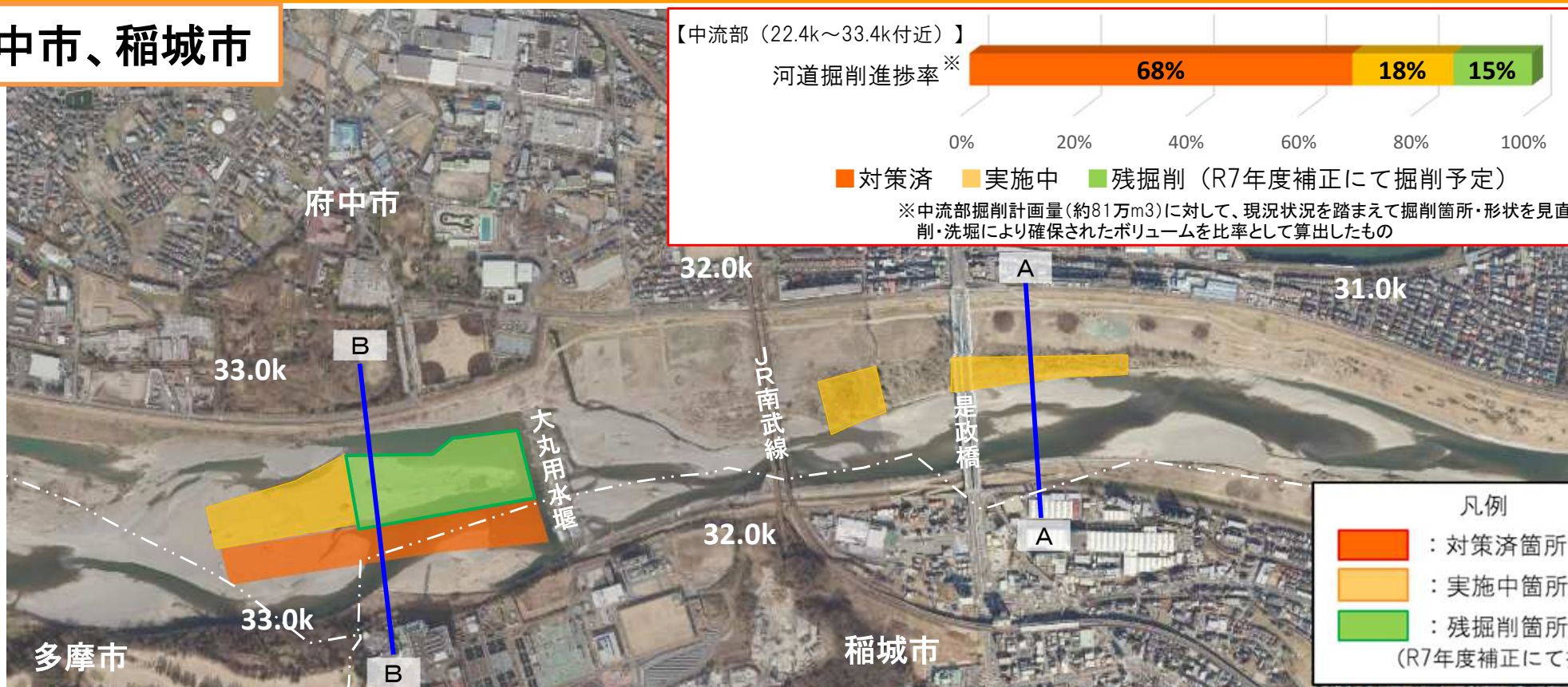
- 凡例
- : 対策済箇所
 - : 実施中箇所
 - : 残掘削箇所
(R7年度補正にて掘削予定)

■ : 掘削範囲(対策済)
 ■ : 掘削範囲(実施中)
 ■ : 掘削範囲(残掘削)



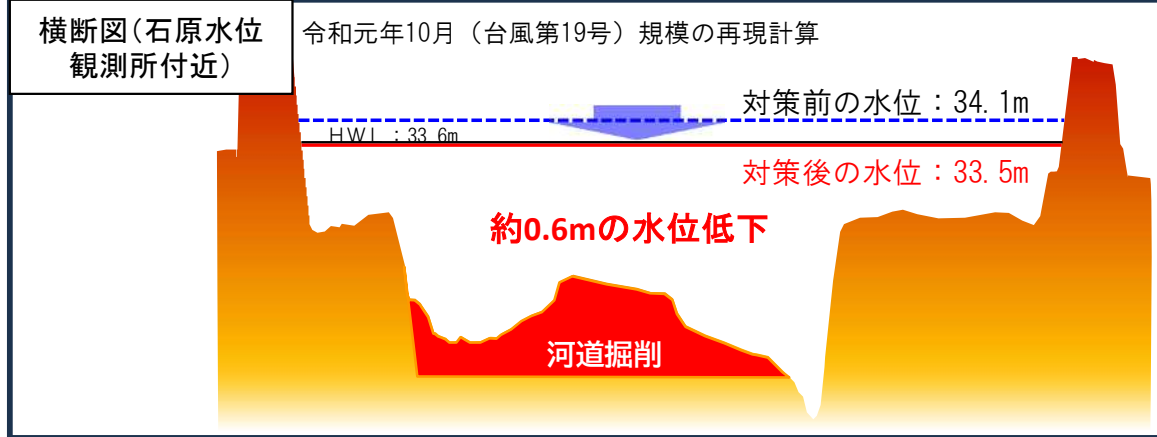
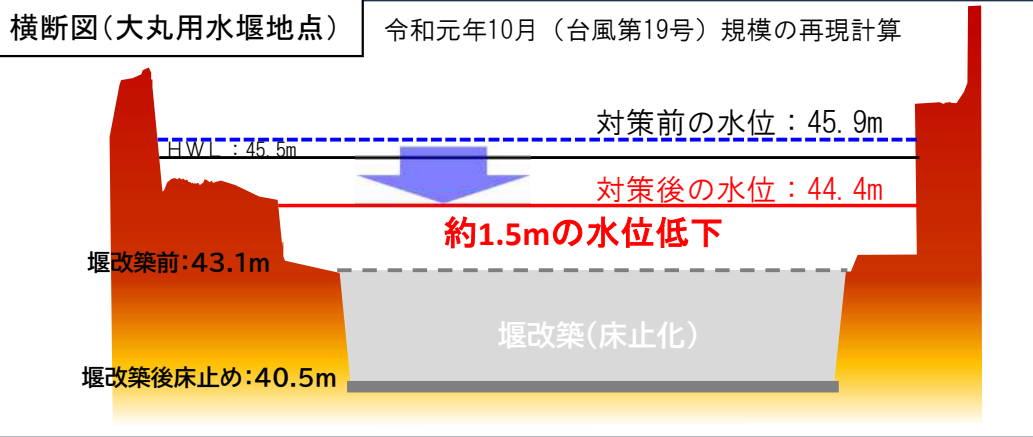
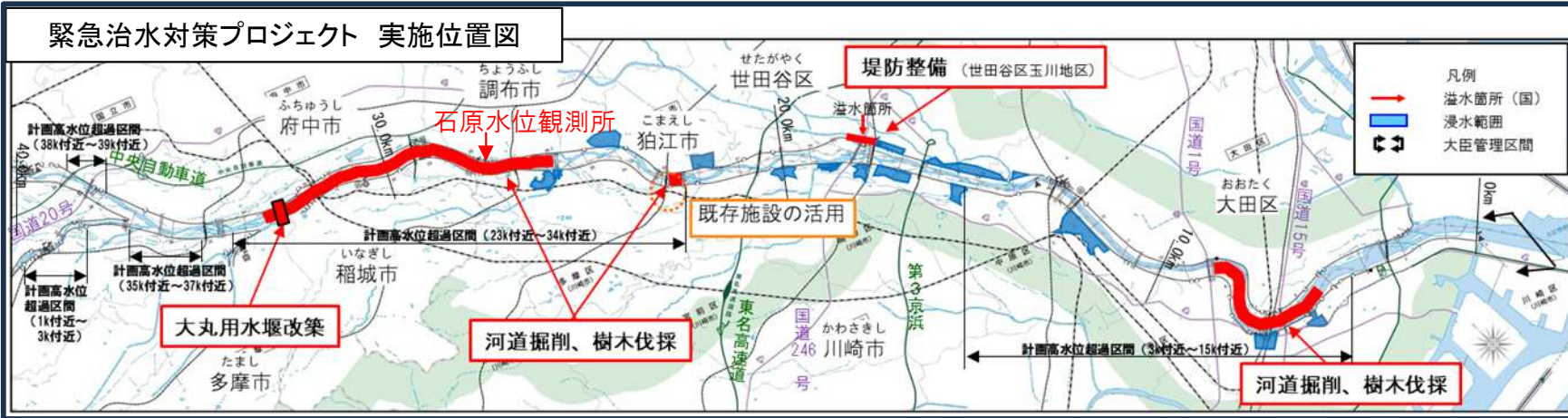
R7河道掘削箇所【多摩川中流部(31.0k~33.4k)】

府中市、稲城市

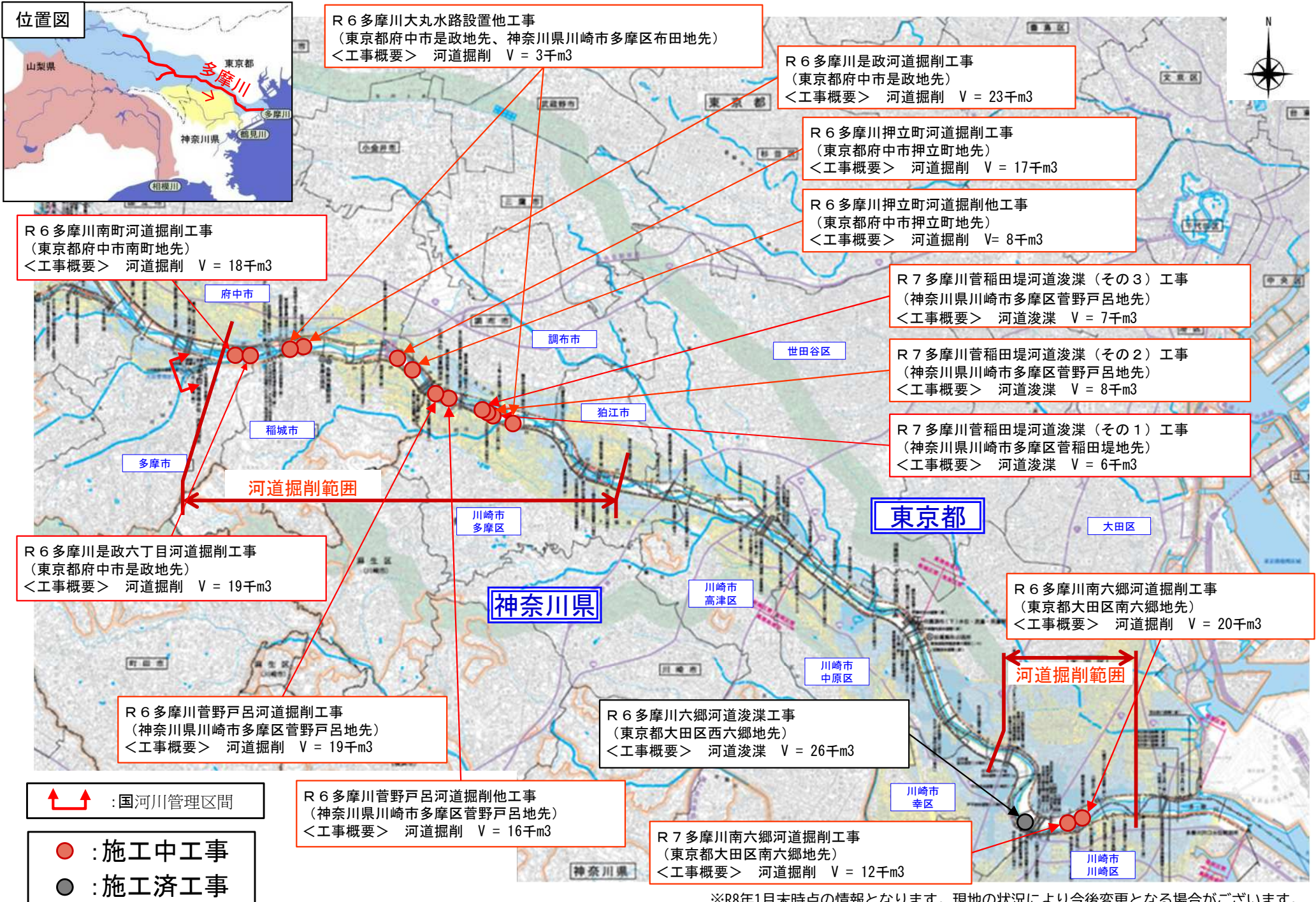


多摩川緊急治水対策プロジェクトの効果

- 多摩川では令和元年10月の台風第19号により、石原地点上流域の2日平均雨量が490mm、石原地点では約7,000m³/sの洪水が流下し、無堤防部であった二子玉川地区にて面積約0.7ha、家屋約40戸の溢水被害が発生した他、直轄区間の21箇所にて堤防や高水敷の被災、沿川各地では内水氾濫が発生。
- この出水を踏まえ、緊急治水対策プロジェクトにより集中的に河道掘削、堤防整備(二子玉川地区)、堰改築(大丸用水堰)等の治水対策を推進。
- 治水対策の進捗により、大丸用水堰地点で約1.5m、石原水位観測所付近で約0.6m、田園調布(上)観測所付近で約0.4mの水位低減効果見込み。



多摩川緊急治水対策プロジェクト R7年度河道掘削実施箇所位置図



※R8年1月末時点の情報となります。現地の状況により今後変更となる場合がございます。

多摩川緊急治水対策プロジェクト <大丸用水堰改築>

【令和7年7月完成】

- 大丸用水堰の改築は、現在の堰を撤去して床止め、帯工を設置し、堰上流に堆積した土砂の掘削を行います。
- これにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、堰付近で約1.5メートルの水位低下を見込んでいます。
- また、取水施設や堤外水路を整備し、既設樋管と接続することで、取水を確保します。

着手前



多摩川緊急治水対策プロジェクトにおける環境保全・創出の取組

- ✓ 多摩川下流部は、干潟やヨシ原が分布し、それらの環境に依存する生物の生育・生息環境となっています。
- ✓ 多摩川緊急治水対策プロジェクトにおける多摩川下流部の河道掘削にあたっては、学識経験者、市民団体、行政のご意見をお聴きしながら、治水と環境の調和した川づくりを進めています。

河道掘削における環境保全・創出方針

- 環境上好ましい掘削形状等を検討し、現況の干潟環境を極力保全するとともに、多様な干潟環境を創出する。
- 水際は、干満で水位が変化する区間(潮間帯)を広くすることで、干潟や塩性湿地植物の生育環境を確保する。
- 掘削形状の工夫として、高水敷から滞筋にかけて緩傾斜に掘削し、広いエコトーンを形成する。
- 河口域の環境上重要な、ヒヌマイトンボやキイロホソゴミムシ等の汽水性重要種の生息環境の保全を図る。
- 高水敷の一部を平均干潮位より深く掘削することで、再生した干潟環境の保全、高水敷からの植物侵入を抑制する。

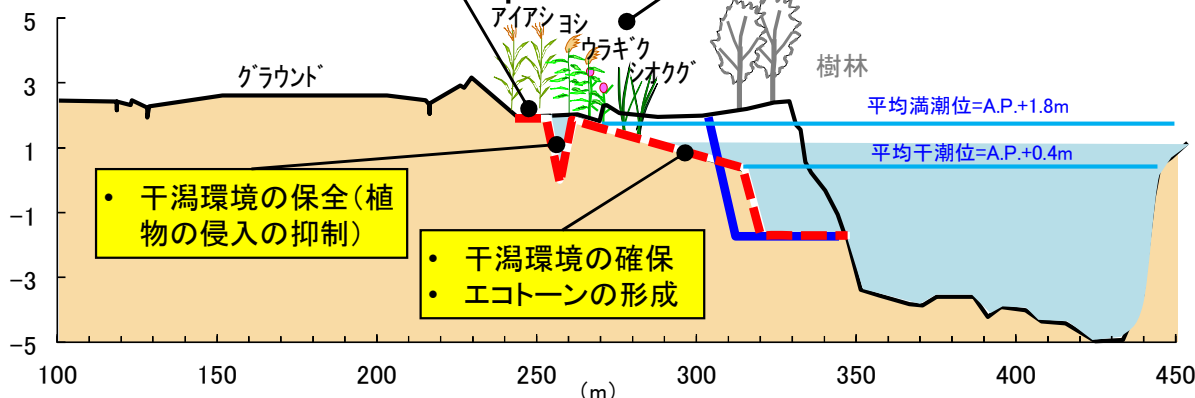
掘削のイメージ

干潟・塩性湿地群落等の再生イメージ(セグメント3)

- 現況河道
- 流下能力断面
- - 自然再生断面

- ヒヌマイトンボ、キイロホソゴミムシ等の汽水性甲虫類の生息環境の保全

- ウラギク・シオクグ等の塩性湿地植物の生育環境の再生



現地視察の様子



意見交換の様子